

科目名	救急患者の 主要病態と治療	授業時間	単位
		30 時間 (16 コマ)	2 単位
科目のねらい・ 目 標	1. 救急患者の主要な健康問題の病態生理や生体反応のメカニズムについて理解できる。 2. 救急患者の主要な健康問題の診断、エビデンスに基づく最新の治療について理解できる。 3. 侵襲と生体反応を踏まえ、身体的査定に関連する臨床検査、画像評価、栄養評価の方法を理解できる。		
回 数	内 容 (方法)		
1	1. 脳血管障害 救急領域における主要な脳血管障害の病態と治療 (くも膜下出血、脳卒中、急性脳腫脹、頭蓋内圧亢進に伴う症状と治療など)		
2	2. 急性呼吸不全の病態と治療 救急領域における主要な急性呼吸不全の病態と治療		
3-4	3. 循環管理 急性循環不全総論 1) 急性循環不全とは 2) 急性循環不全の病態 3) 急性循環不全の診断 4) 急性循環不全の治療		
5	4. 急性腹症の病態と治療		
6	5. 多臓器障害の病態と治療 (敗血症、DIC、ARDS)		
7	6. 外傷の病態と治療		
8	7. 熱傷の病態と治療 (熱傷の治療、輸液療法と感染管理など)		
9-10	8. 急性中毒の病態と治療		
11	9. 急性精神症状の病態と治療		

回数	内容（方法）
12	10. 侵襲による生体反応 1) 神経系・内分泌系の調整機能と各器官系の応答 2) 身体侵襲に伴う臓器障害のメカニズムと臨床所見
13	11. 臨床検査 1) 救急領域における臨床検査
14	12. 画像評価 1) 救急画像診断における基礎知識 2) 救急領域における画像診断
15-16	13. 栄養評価 1) 栄養評価と管理 ① 侵襲に対する代謝反応 ② 救急患者の栄養評価とアセスメント 2) 救急患者に対する静脈栄養 3) 救急患者に対する早期経腸栄養法と合併症
評価	筆記試験
テキスト	・上條吉人(著)：精神障害のある救急患者対応マニュアル、医学書院、2007
参考文献	1. 日本版敗血症診療ガイドライン(http://www.jsicm.org/pdf/SepsisJapan2013.pdf) もし、公開されていたら、「ARDS クリニカルプラクティスガイドライン」と「日本版重症敗血症診療ガイドライン 2016」（ともに 2016 年中に公開予定） 2. 日本救急医学会(監修)：救急診療指針 2011 3. 船曳知弘 著. 相川直樹 監：救急画像診断アトラス（外傷編）. ベクトル・コア、2007年. 4. 船曳知弘 著. 相川直樹 監：救急画像診断アトラス（内因性疾患編vol. 1）. 5. 船曳知弘 著. 相川直樹 監：救急画像診断アトラス（内因性疾患編vol. 2）. ベクトル・コア、2010年. 6. 日本外傷学会・日本救急医学会監：外傷初期診療ガイドライン改訂第4版. へるす出版、2012年 7. 山勢博彰編集：クリティカルケアアドバンス看護実践看護の意義・根拠と対応の争点 南江堂 8. 日本外傷学会・日本救急医学会監修：外傷初期診療ガイドライン改訂版 へるす出版